

2017.5.10 高知新聞

# 袴田巖さん釈放後の日々

## 「夢の間の世の中」

14日 高知市で上映



袴田巖さん「左」はいつしか、金聖雄監督と将棋を指すのを楽しむようになった

©Kimoon Film

「死刑囚」として拘束され、無実を訴え続けてきた袴田巖さん(81)の釈放後の日々

に密着したドキュメンタリー映画「袴田巖 夢の間の世の中」(金聖雄監督)が14日、高知市棧橋通4丁目の市立自由民権記念館で上映される。

で長期にわたって獄中に閉じ込められた袴田さんは、釈放後も妄想と現実の世界の境に

袴田さんは、1966年に静岡県で起きた一家4人殺害事件の容疑者として逮捕された。裁判で一貫して無罪を訴えたものの死刑判決が確定。2014年になって、静岡地裁が「証拠は捏造の疑いがある」として再審開始を決定し、袴田さんは48年ぶりに即日釈放された。映像はそれ以後の日々を追う。

「死囚囚」として拘束されている。姉の秀子さん(84)との穏やかな日々にも包まれて、やがて袴田さんの表情はほぐれていく。

寄り添うような映像は、金監督ら製作スタッフと、袴田さんきょうだいの間で流れる、温かな気持ちの交流も映し出す。何げない暮らしの大切さと、それが奪われることの意味が伝わる作品だ。

いつ死刑執行されるかわからないという、絶望的な状態

午前10時半、午後1時、3時半、6時から4回上映。各回上映前に5分ほど事件の解説がある。千円(当日1300円)。学生・障がい者は当日500円。高新プレイガイドなどで販売中。問い合わせは主催のシネマ四国(0888・8555・9481)へ。

天野弘幹

(天野弘幹)